

名戸ヶ谷ビオトープだより

第 81 号 2020 年春号

<http://nadogaya-biotope.com/>

名戸ヶ谷ビオトープを育てる会 発行

発行責任者：小笠原 智 Tel 080-2259-4415

新型コロナの緊急事態宣言で静かな田植えになりました

《連休になったので田植えの準備は万全にできました》

3 月と 4 月の合同活動日に稲株踏み、4 月 19 日に元肥（バイオ有機肥料）散布を行いました。新型コロナウイルスの非常事態宣言の為、仕事が休みになり、4 月 25 日から畔の補修、5 月 2 日から田んぼの中の草取り、板均しを行い数年ぶりにじっくりと準備を進められました。5 日の朝、会員の小川さんのトラック

で藤心ライスセンターから苗を引き取り搬入し、田植えは 6 日にもち田 1～4 番田を多くの会員の参加で終わらせ、7 日に残りのうるち田 7、1、2 番田を植えました。うるち苗は柏産の「コシヒカリ」もち苗は「満月」です。*今年の名戸ヶ谷小学校の田植えは中止でした。（学校が再開していません）（小笠原 智）



株踏み後に肥料を散布しました



もち田も今年は会員による田植えです



今年は市民参加を中止、高橋会員の友達 2 人（中学 1 年生）のみが体験参加しました



植えた後をカルガモが餌を漁っていますが、苗も踏み倒しています

緊急事態宣言で不要不急の外出は禁止になりました 「でもちょっとは外で遊びたいです」

「3密」にならないようにしながら、ビオトープに多くの市民が外遊びに来ていました。まだ小さいザリガニを釣ったり、手押しポンプで水汲みに挑戦したりビオトープに初めて来訪する家族も多くいました。ビオトープのリーフレット30部ほど持ち帰られました。会では密にならないようルール看板を設置しました。

毎月幹事会を開催している「名戸ヶ谷ふるさと会館」も閉鎖されました。（小笠原 智）



ザリガニはまだ小さいけど釣れます



作業小屋前の休憩陽除けベンチ上に屋根をかけました。（4、5月の幹事会はここで開催）



手押しポンプは「なかなか水が出ないよう！」「ガンバレー！」

Aゾーンの中央木道が擬木と南洋材で更新されました ホタル観察木道も延長し、回遊できるようになりました



Aゾーン中央木道が市の工事で更新されました



ホタル木道は休耕田側まで回遊できるよう延長しました

*田植え前にBゾーンで大きな「アオダイショウ」が見つかりました。ビオトープでは生態系の頂点に位置する大物です。



近所の生徒が捕まえてきましたが現地に放しています。畦や畑にも出没中です

ヘイケボタル幼虫の放流

4月18日(土) 天気:雨 13℃ 9:30～9:45

松清さんが、昨年から飼育した幼虫約130匹をホタル水路へ放流しました。会員4名の参加でそっと見守っていました。餌となるサカマキガイ、カワニナはホタル水路に生息しており、ホタル水路も定例活動で整備し、生息環境を整えております。

無事に育って、早ければ6月中頃からホタルの飛翔を観察できます。多く期待したいと思います。(昨年6/26、10匹確認)

(藤平 三郎)



ヘイケボタル幼虫



ホタル水路に放流



放流したところ

ニホンアカガエル「変態」の時期です

田植えをしていると、カエルの鳴き声が聞こえてきます。

2月に卵塊だったニホンアカガエルの卵を数十個ほど水槽に移し、観察をしました。卵の中で刻々と変わる姿や、小さなオタマジャクシになって泳ぐ様子をよく見ることができました。



ふ化の時期は卵によって意外とずれるようです

4月下旬になると足が生え、上陸の準備が始まりました。



5月GW明け、数匹のオタマジャクシが変態に成功し、ビオトープに戻りました。

ビオトープでも同様に成長していれば、今頃がカエルに変化する時期ということで、田んぼのしげみで小さなアカガエルを見かけることもあるかもしれません。

ビオトープには、ニホンアカガエル・トウキョウダルマガエル・アズマヒキガエル・アマガエル・シュレーゲルアオガエルなどが見られますが、鳴き声が聞こえても、実際に鳴いているカエルの姿を目撃できる機会がなかなかありません。

ネットやCD図鑑でそれぞれのカエルの声を検索し、どのカエルが鳴いているのかわかるとビオトープの散策もより楽しいだろうと思います。



まだしっぽが残っていますが、上手にジャンプします

(高橋 紀子)

ビオトープの植物 ウキヤガラ（浮矢柄）の花



ザリガニ池の木道の突き当りのあたりに、今年はずいぶんウキヤガラの花が咲いています。

ウキヤガラの新芽とヨシの新芽は、春のほとんど同じ時に出てきます。ほっておくとヨシがどんどん大きくなり、ウキヤガラは少ししか花を付けません。今年は4月にヨシ刈りをしましたので120本以上が開花しました。茎のてっぺんの茶色いのが花です。カヤツリグサ科の花はどれも「これが花なの？」と言われるほど変わった咲き方をしていますが、ウキヤガラもよく見ると趣がありますね。

ウキヤガラ（浮矢柄） カヤツリグサ科

池や川などの浅い水中に生える高さ0.7mから1.5mの多年草です。

和名の「浮矢柄」は冬に刈れた茎が水に浮かぶすがたを矢柄に例えたものです。

(山村 和子)

丸岡さんが植物の名札を作ってくださいました。



名前を知れば植物と仲良くなれます。

月例活動状況のお知らせ

3月21日(土)

会員 12 名の参加のもと、圃場のカブ踏み作業を実施。更に B ゾーンの木道脇の鬼の牛の毛草の刈り取り作業や市道脇の雑草の除去作業を実施しました。



カブ踏み作業風景



鬼の牛の毛草除去作業



市道野草刈り風景

4月19日(日)

定例作業日は雨のため日曜日に延期し 10 名の参加のもと、圃場のカブ踏み作業の実施、畦の整備、有機肥料の散布作業、B ゾーンのヨシの刈り取り作業を実施しました。



カブ踏み作業風景



ヨシの刈り取り作業



畦の修復作業風景

5月17日(日)

先月に続いて今月の定例活動日も雨の予報の為日曜日に延期しました。前日と違い気温が上昇し夏日になりました。この日、会員は 10 名が参加しました。B ゾーンのヨシが多数発生し刈り取りが急務でした。その他ミントや鬼の牛の毛草の刈り取り、圃場の苗の植え直しやザリガニ釣り場の葦の刈り取りを実施しました。ヨシの刈り取りは翌日も 4 名参加で実施しました。(菌田 廣満)



B ゾーンヨシ、ミントの刈り取り



うるち田の苗の植え直し作業



ザリガニ釣り場の葦の刈り取り

ビオトープ文庫の新刊紹介

今回は会員の著作となるビオトープ文庫の新刊書を紹介します。

虫といっしょに家庭菜園 (小川さん著)



とにかく本当に楽しい本です。小川ファームでの虫たちとのやり取りがびっくりするやりとりで書かれています。

詩集 晴れの日、一輪の花、見上げる芽、(春山さん著)



素敵な詩集です。

コロナウイルスで気の滅入る日々ですが、この詩を読むと癒されます。

新入会員紹介

丸岡 計さん (常盤台在住)、鎌田 勇武さん (常盤台在住)

健康を願い、毎朝 NHK のラジオ体操 (三小校庭、約 20 名) に楽しく参加しております。

仲間で当会会員の久保田さんから「名戸ヶ谷ビオトープを育てる会」の活動内容をうかがいました。「水」に関係することには特に興味がありますので、入会させていただきました。

体が動かない年齢になりましたので十分な協力はできませんが、迷惑をかけない程度に頑張るつもりです。

会員の皆様、よろしくお願いいたします。(丸岡 計)



丸岡さん

鎌田さん

6～8月の活動予定

- 6月 ●上旬 春の生態調査、加里肥料散布
- 20日 6月定例活動日
- 上・中・下旬 田の草取り
- 下旬 ヘイケボタルの観察会
- 7月 ●上旬 穂肥散布
- 18日(土) 7月定例活動日
- 8月 ●上旬 雀除けネット張り
- 15日(土); 5月定例活動
- 下旬 田ハザ作り

活動の詳細の日時・作業内容は担当幹事からメールにて連絡します。

名戸ヶ谷ビオトープに来てみませんか?

交通: 柏駅東口より東武バス (5 番乗り場)

「名戸ヶ谷行き」「新柏行き」で

「名戸ヶ谷病院前」下車

面積: 約 4,400 m² 湿性生物: 57 種

生きもの: 161 種 (内千葉県指定保護生物 26 種)

(2013 年、年間を通じて観察した生きものの種類)